四国がんセンター

婦人科

婦人科手術を
受けられる方へ

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さま

レーザー蒸散術・円錐切除術

2004年7月16日　作成
2026年11月24日　改訂

私たち医療スタッフは

Ⅰ　入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようにお手伝いします

Ⅱ　手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず
順調に回復され安心して退院を迎えられるように
お手伝いします



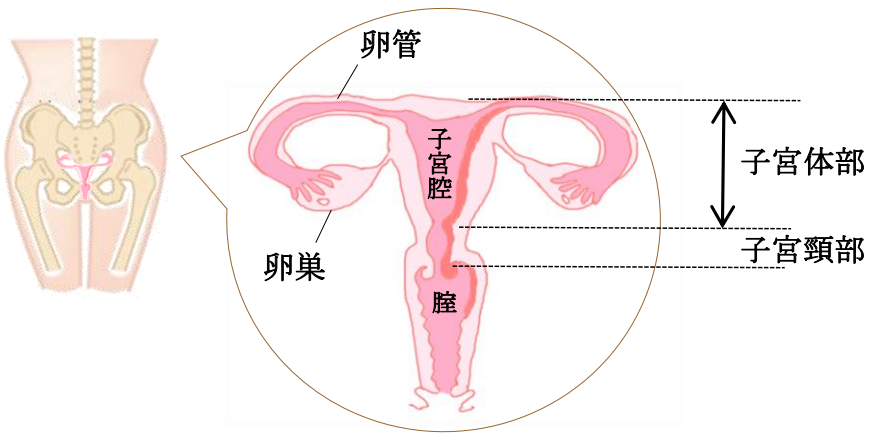
子宮頸部異形成・上皮内がんってどんな病気？

●子宮とその周囲のようす

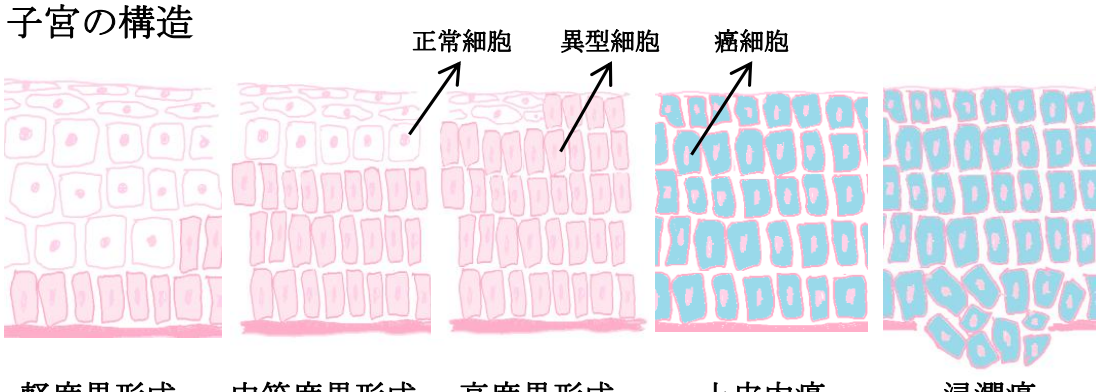
子宮は、筋肉でできた袋で梨型のような形をしていて、上部は胎児が宿る
子宮体部、下部は管状になっている子宮頸部からなり、膣につながります
子宮腔から卵管を経て、おなかの中へ通じています
卵巣は子宮と血管などでつながっています

●子宮頸部の組織と子宮頸がん、異形成、上皮内がんとの関係

子宮頸がんは、子宮頸部に発生するがんです　子宮頸部表面は、皮膚と同じ
扁平上皮細胞と分泌液をだす腺細胞で覆われています
正常な扁平上皮から、がんに進行する過程の病変が異形成や上皮内がんです
つまり、子宮頸部異形成や上皮内がんは、良性と悪性の中間病変ということに
なります



子宮の構造



子宮頸がんへの進行のイメージ

●子宮頸部異形成あるいは上皮内がんの手術には、大きく分けて『レーザー蒸散術』と『円錐切除術』の二つの方法があります

子宮頸部レーザー蒸散術

子宮頸部レーザー蒸散術は、炭酸ガスレーザーを用いて子宮頸部を半球状に蒸散します

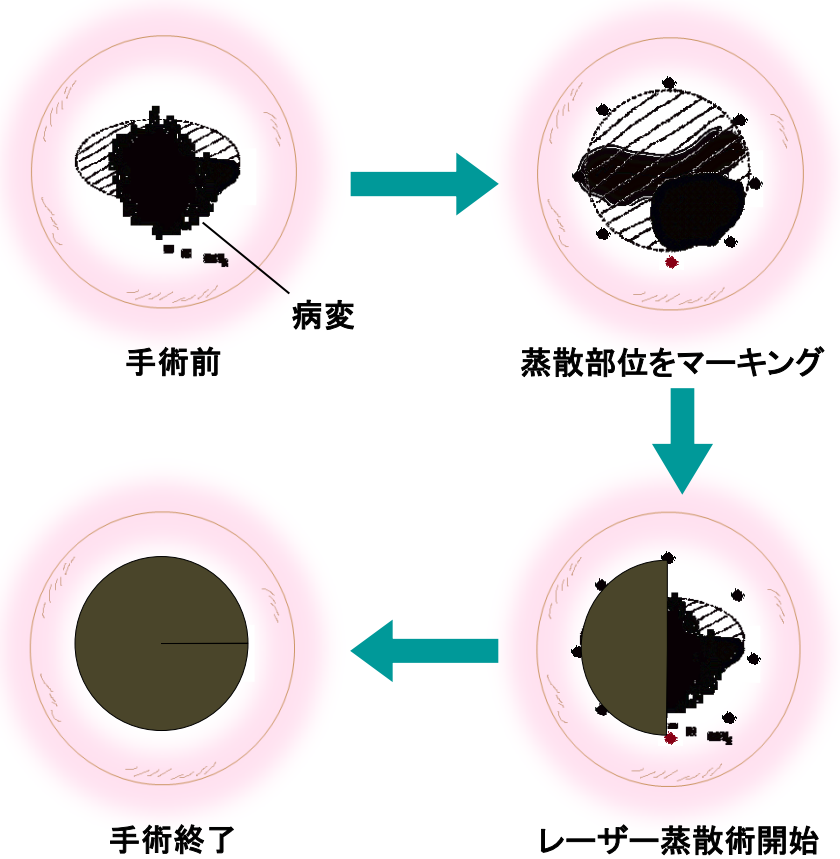
手術の際に、組織を切除することはありませんので、外来での診察がより重要になってきます

病変の広がりが子宮頸部表面だけであることを慎重に確認し、採取した組織の顕微鏡検査（病理検査）で浸潤がんではないと判断した場合に、レーザー蒸散術が治療の選択肢として挙げられます

術後の定期的な検診は必須となります

円錐切除術よりも蒸散する奥行きが短いことから、妊娠時の早産などへの影響は少ないと考えます

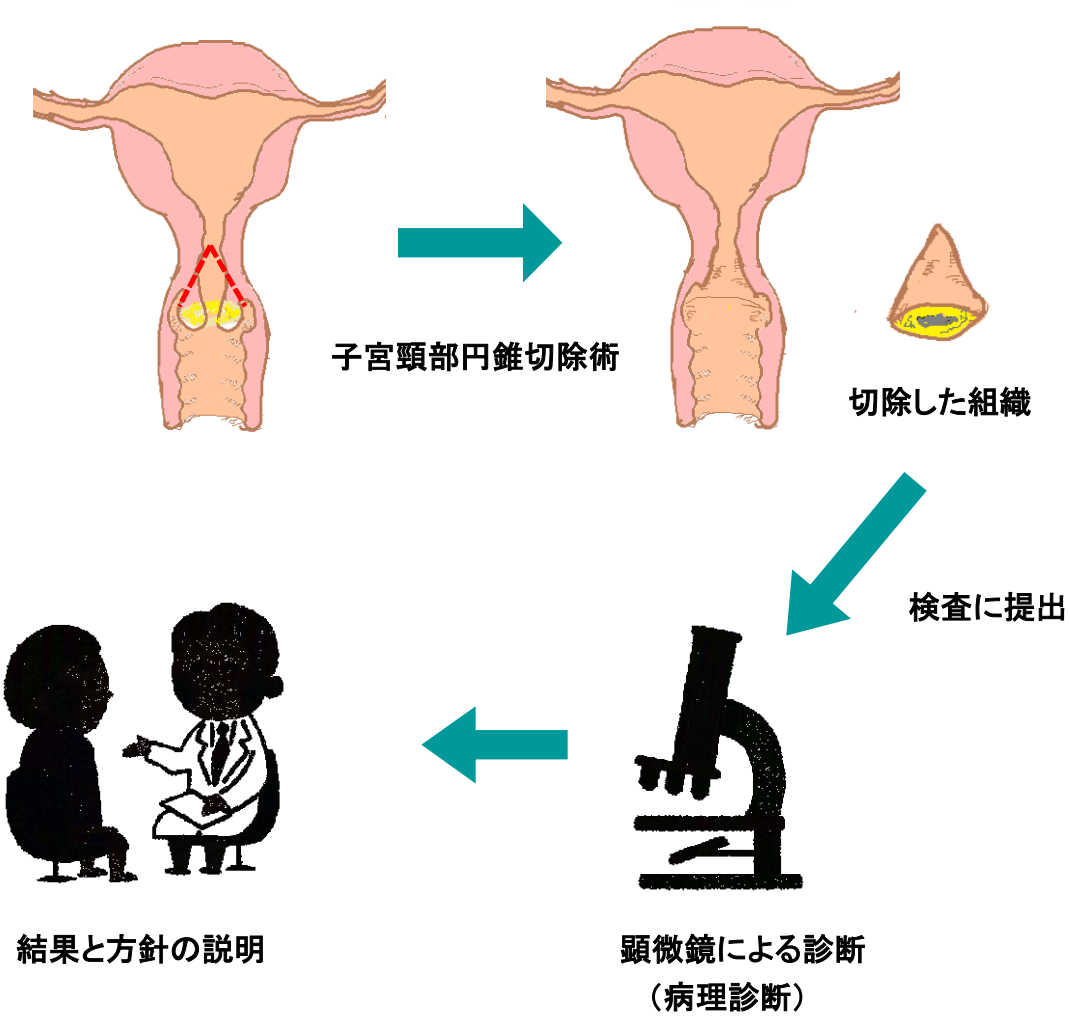
手術時間は約１０分間ですが、麻酔をかけて、麻酔から覚める時間も含めると、手術室には４０分～１時間滞在します



子宮頸部レーザー蒸散術

子宮頸部円錐切除術

子宮頸部円錐切除術は、電気メスを用いて子宮頸部を円錐状に切除します
切除した組織を顕微鏡で観察すること（病理検査）によって、診断を最終的に確定します
この病理検査の結果、浸潤がんでなければ、追加の治療は不要です
ただし、術後も定期的な検診は必須となります
手術時間は１０～２０分間ですが、麻酔をかけて、麻酔から覚める時間も含めると、手術室には約１時間滞在します



子宮頸部円錐切除術

【合併症】
レーザー蒸散術、子宮頸部円錐切除術ともに同じような合併症があります
一般的に、レーザー蒸散術のほうが、円錐切除術　より合併症の頻度は少なく、程度は軽いです

１．出血
電気メスを用いて慎重に切開しますが、時に太い血管から出血し、止まりにくいことがあります
その際には、糸で縫合するといった処置が必要となります
手術終了時には切除部に「かさぶた」が形成されて止血している状態となっています
この「かさぶた」がはがれる術後７～１４日頃に出血が多くみられることがあります

２．おりもの
切除部位が治癒するまでは、出血にいたらなくても、茶褐色～淡紅色のおりものが持続することが多いです
切除部位治癒後は、通常のおりものとなります

３．下腹部痛、腹部違和感
手術当日から数日間、軽い下腹部痛やおなかの違和感を感じることがあります

４．頸管狭窄、頸管閉鎖
切除部位が治癒する過程で、頸管が狭くなる頸管狭窄を起こすことがあります
そうなると、今まで月経痛がなかった人も月経痛を感じるようになる場合があります
まれに頸管が完全に閉じてしまう頸管閉鎖を起こすと、再開通術が必要となる場合もあります

５．切迫早産、早産
円錐切除部位が治癒した後の子宮頸部の長さは、手術前より短くなっています
そのことが、切迫早産や早産の危険性を高める可能性があります
場合によっては、妊娠早期に早産予防の手術が必要となる場合があります

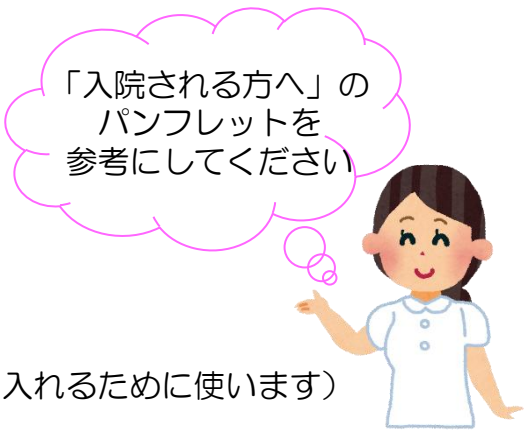
治療のメリットとデメリット

手術方法	レーザー蒸散術	円錐切除術	子宮全摘術 （参考）
入院期間	３日	４～５日	開腹手術：１０～１４日 腹腔鏡手術：８～１０日
麻酔の種類	全身麻酔	全身麻酔	全身麻酔
手術時間 (麻酔の時間は含まず)	１０分	１０分～２０分	約３時間
手術後病理検査 病気の進行度が分かる	× 手術前に実施した 生検時の検査のみ	○	○
入院費用 ３割負担の場合 限度額 (食事代・室料は含まず)	５万円程度	６万円程度	４０～５０万円程度 詳細は医事へ お問い合わせください
再発率	１０%以下	１０%以下	治癒
妊娠・出産	○	○	×
流産・早産のリスク	一般的なリスクと 変わらない	一般的なリスクより やや上がる	ー
術後の定期検診	必須	必須	必須
仕事復帰の目安 ◆軽労働 ◇重労働	◆退院翌日～ ◇１０日目～	◆退院翌日～ ◇１０日目～	◆術後１か月～ ◇術後１か月～
合併症	・出血 ・ごくまれに頸管狭窄や閉鎖、それにより、月経痛、子宮留血症など頸管拡張が必要となる		・手術に伴うリスク

手術までに準備していただきたいこと

・他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください
（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
・お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
・サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
・爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
・まつげのエクステンションをされている方は、お知らせください
・指輪は入院までに外しておいてください
難しい場合は事前に医療スタッフまでご相談ください

＜以下のものは病院で貸し出し、購入もできます＞
・衣類（パジャマタイプ／ゆかたタイプ）
・バスタオル　２枚
} 「ＣＳセットのご案内」冊子を参考にしてください



＜ご自宅からお持ちください＞
・前開きの上着（手術衣の上に着用します）
・生理用ショーツ　１枚
・ナプキン（普通の日用）　２～３枚
・ビニール袋　３枚（靴、ねまき、下着などを入れるために使います）

＊タオル、歯ブラシ、コップ、ティッシュペーパーなどご自身の持ち物に氏名をお書きください
※説明書・同意書（手術・輸血・麻酔）がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ　くろ～ば～

場所　２階　中央処置室前
営業時間　８：３０～１７：００
定休日　土・日・祝日・年末年始
電話　（０８９）９９９-１１２９

ダイアリー

このパンフレットには、 当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は３～５日間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともありますが、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日（手術前日）　　月　　日



今日の目標
- 入院生活、病気、手術について医療スタッフの説明を理解することができる

＜時間＞　＜予定＞

11：00　入院

【入院後に以下のことを予定しています】
- 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- 身体測定、検温、血圧測定、酸素飽和度測定
- 外来で手術の説明を受けていない場合は医師から説明があります
- サインをした同意書は看護師にお渡しください

12：00　昼食

＜お薬＞
- 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします　医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします（内服薬、外用薬、点眼薬、点鼻薬、点耳薬など）
- また、入院１か月前までに使用していた薬があればお知らせください
- 便秘傾向の方は看護師にお伝えください

18：00　夕食

＜食事＞
- 病院で提供する食事以外は食べないようにしましょう
- ２１時以降は絶食です
- うがいや歯磨きは２１時以降もできます

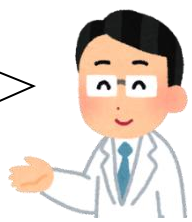
21：30　消灯

★水分について★
翌朝６時３０分まで
水のみ（２００mlまで）、飲むことができます

ご家族の方へ

手術当日は（　　）時までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（２階フロア・４階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようにお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ちいただくことをご了承ください

医療スタッフの目標
- 安心して入院生活を送れるように支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します



手術室入室から病室へ戻るまで

安心して手術をうけることができるように、手術室での様子を説明します
・手術室担当看護師が名前（フルネーム）、手術部位を確認します
・手術用ベッドに横になり、ズボンと下着を脱ぎます
・胸に心電図のシールを貼り、血圧と酸素濃度を測定します
・手術が開始が９時の方は、手術室に入室後点滴を始めます



全身麻酔から手術開始まで

①口に酸素マスクがついたら、ゆっくりと深呼吸をします
②点滴から麻酔薬が入ります
（３０秒くらいで麻酔がかかります）
③麻酔がかかったら、口から呼吸のためのチューブが入ります
④足に血栓予防のための機器がつきます
⑤尿の管が入ります（手術によっては、入れないこともあります）
⑥追加で点滴をすることがあります
⑦手術の姿勢になります
　□仰向けに寝て両腕を開く　□仰向けに寝て両腕を体につける
　□仰向けに寝て足を開く　□両膝を曲げ、軽く足を上げる
　□左向き　□右向き　□うつ伏せ
⑧安全のために腕や足が固定されます

手術が終わると・・・
・少しずつ麻酔から覚めてきます
・看護師の呼びかけに応じた動作をしてください
　名前を呼ぶ、動作を促す声かけ「舌を出してください」「手を握ってください」など
・しっかり自分で呼吸ができるようになれば、呼吸のチューブを抜きます
　口に酸素マスクがついたら、ゆっくりと深呼吸をします
・手術用ベッドから病室のベッドに移り、医師、看護師と一緒に病室に戻ります
　ＨＣＵ（高度治療室）に入室する場合があります

手術当日（手術前）　　月　　日



手術前の目標
- 予定どおりに手術を受けることができる

＜時間＞　＜予定＞

引き続き**絶食**です
６時３０分以降は水分摂取できません

６：００ ― 起床

７：００ ― 検温、血圧測定
医師の指示がある方は少量の水でお薬を飲みます
【薬剤名：　　】

９：００ ― 検温、血圧測定
手術開始が９時以外の方は点滴を行います

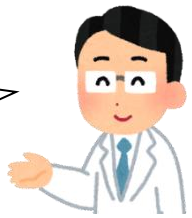
手術30分～1時間前 ― 洗面、歯磨き、トイレを済ませてください
お渡しする手術衣に着替えます
手術時に貴金属を身に着けているとやけどをすることがあります
安全に手術を行うために以下のものは全て外してください

	□ 入れ歯		□ 腕時計
	□ コンタクトレンズ		□ イヤリング・ピアス
	□ 磁気製品・湿布		□ ネックレス
	□ かつら・ウィッグ		□ 指輪
	□ お化粧		□ ブレスレット
	□ つけまつげ		□ ヘアピン
	□ マニキュア		□

※眼鏡をかけて手術室へ行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください
検温、血圧測定

手術5分前 ― 診察券、ビニール袋３枚を準備してください
看護師と一緒に（　歩行　・　車椅子　・　ストレッチャー　）で手術室へ行きます
※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標
- 予定どおりに手術が受けられるように支援します



手術当日（手術後）　　月　　日



手術後の目標
- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- 生理量以上の出血がない
- トイレ歩行ができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温・血圧測定、状態観察
- 帰室時、３０分、１時間、２時間に行います
  （これ以外も必要なときに測定します）

酸素吸入
- ２時間は、酸素吸入を行います
  目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

点滴
- １本点滴をします（約３時間）
  点滴が終了したら針は抜きます

痛み・吐き気
- 痛みや吐き気などがあるときは、我慢をしないで看護師にお知らせください

活動
- ２時間は、ベッド上で安静にしましょう
- ２時間経てば、枕の使用ができます
- ２時間で病棟内を歩くことができます
- 最初の歩行時は、看護師が付き添います

食事
- ２時間経てば、水分をとることができます
- 夕方から食事をとることができます

清潔
- 本日はシャワー浴はできません
  体を温かいタオルで拭きます

医療スタッフの目標
- 術後合併症の早期発見と症状の緩和に努めます



次のページからは、該当のページをご覧ください
- **レーザー蒸散術**を受けられた方
- **円錐切除術**を受けられた方

レーザー蒸散術

退院日（手術後１日目）　　月　　日



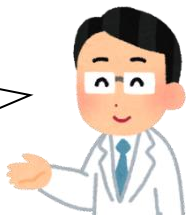
今日の目標
- 生理量以上の出血がない
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

＜時間＞	＜予定＞
６：００	起床 検査
７：３０	朝食
８：３０ ～ ９：００	退院前に医師の診察があります 術後の経過と退院後の日常生活について看護師より説明があります 「退院後の日常生活について」ページ参照 次回外来予約票をお渡しします
１０：００	退院 退院前に忘れ物がないようにご確認ください 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、 ２階でお支払ください

本日よりシャワー浴ができます

ＭＥＭＯ　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 術後合併症の早期発見と症状の緩和に努めます
- 退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



円錐切除術

手術後１日目　　月　　日



今日の目標
・不正性器出血がない

＜時間＞　＜予定＞

6：00　起床

7：30　朝食

午前中に医師の診察があります

10：00　検温、血圧測定

12：00　昼食

シャワー浴

18：00　夕食

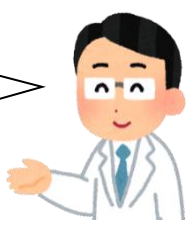
21：30　消灯

病院の敷地内を歩くことができます
本日からシャワー浴ができます



MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・術後合併症の早期発見と症状の緩和に努めます



円錐切除術

手術後２日目　　月　　日



今日の目標
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 不正性器出血がない

＜時間＞　＜予定＞

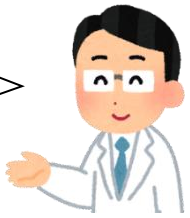
6：00	起床
7：30	朝食
10：00	検温、血圧測定
12：00	昼食
	シャワー浴
	術後の経過と退院後の日常生活について看護師より説明があります 「退院後の日常生活について」ページ参照
18：00	夕食
21：30	消灯

病院の敷地内を歩くことができます

医師が必要と判断したときは、
術後２日目か３日目に診察があります

MEMO　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 術後合併症の早期発見と症状の緩和に努めます
- 退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



円錐切除術

手術後３日目（退院日）　　月　　日



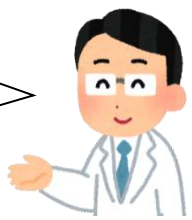
今日の目標
- 不正性器出血がない
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる
- 退院できる

＜時間＞	＜予定＞
6：00	起床
7：30	朝食
	お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします 次回外来予約票をお渡しします
10：00	退院 退院前に忘れ物がないようにご確認ください 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、 ２階医事受付窓口でお支払ください

手術の同意書に記載していたとおり
退院の翌日にお体の様子について
病院からお電話いたします
ご了承ください

ＭＥＭＯ　　気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
- 術後合併症の早期発見と症状の緩和に努めます
- 退院後の日常生活に不安が残らないように支援します



退院後の日常生活について

◆入浴

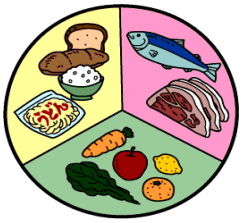


次回外来受診日までは浴槽には浸からないようにしてください
かけ湯やシャワー浴にしましょう
冬は浴室を湯気で温めておくと良いでしょう
体の洗い方は今までどおりで結構です

◆活動

特に階段の昇降や重い荷物を持つなど、腹圧をかけるような活動は控えてください
自転車・バイクは、舗装された道をゆっくり走りましょう
また社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）や、心配なことがあれば、医師と相談してください

◆食事



特に制限はありませんが、過食・間食に注意して、
栄養バランスの良い食事にしましょう

◆排泄

無理な腹圧をかけなくても便が出るように上手に調節しましょう
自然に排便の無いときは下剤で排便調節をしましょう
便が出にくいときは、無理に腹圧をかけず、ご相談ください
無理な腹圧をかけると不正性器出血の原因になります

◆お薬



薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

◆性生活について　（パートナーの方も一緒に読みましょう）

治療を受けた後は、性生活に様々な変化が見られることがあります
退院後、パートナーとの関係に不安を持つ方も少なくありません
自分の気持ちを伝えたり、治療前の事にこだわらず話し合うことが大切です
退院後、初回の外来以降で主治医の許可があれば、性行為をしてもかまいません
目安は手術から２か月後くらいです

◆その他

退院後の定期受診は必ず受けてください
受診日を確認しておきましょう

※次回外来受診日の目安は、初回３～４週間後
　初回以降の受診日の目安は３～６か月毎の予定です



※少量の出血であれば、様子をみておいてください

●性器出血が生理の一番多いときの量が持続するまたは増えるとき

●かゆみやおりものに悪臭があるとき

●３８.０℃以上の高熱が出るとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】　８：３０～１７：１５
四国がんセンター　がん相談支援センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１１４

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
（代表番号）　０８９-９９９-１１１１

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】　１３：００～１７：００
四国がんセンター　予約センター
（直通番号）　０８９-９９９-１１１２